



HOKKAIDO
UNIVERSITY

順応科研(宮内科研)・研究会

研究課題

「植林と土地紛争がもたらす『被害』:フィールド
研究からの環境ガバナンスの問い直し」

にむけて

笹岡正俊

北海道大学大学院文学研究科

m.Sasaoka@let.hokudai.ac.jp

本発表における「グローバル環境ガバナンス」

- 環境ガバナンス

環境に対して何らかの利害を持つ様々な関係者(地域住民、私企業、**NGO**、政府組織など)が、公式・非公式の制度を活用しながら、環境利用の持続可能性の向上、環境利用における社会的公正性の確保、環境・資源をめぐる対立の解消などの実現を目指すプロセス

- グローバル環境ガバナンス

環境ガバナンスのなかでも関与する利害関係者の相互作用のネットワークが特定の地域や国を越えて、広い範囲に拡大しているもの

出所: 笹岡正俊. 印刷中. 「『隠れた物語』を掘り起こすポリティカルエコロジーの視角」, 井上真編『シリーズ 東南アジア地域研究 第1巻 環境』, 慶應義塾大学出版会.



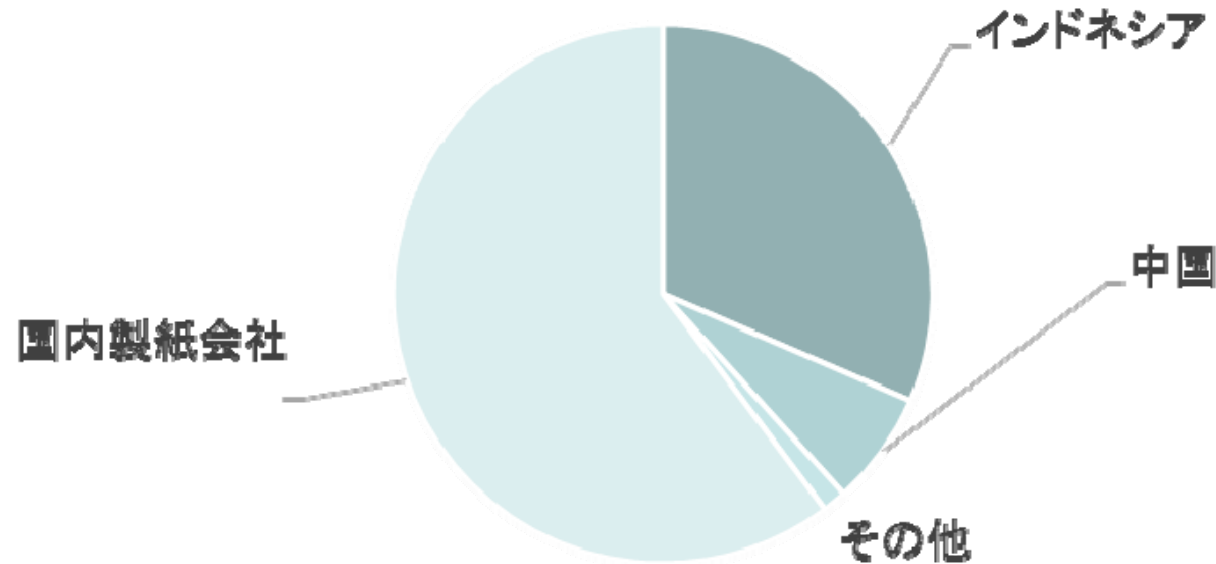
今日お話しさせていただく内容

1. 日本の紙消費とインドネシアの産業造林
2. パルプ用原料の「責任ある生産」にむけたグローバル環境ガバナンスの形成プロセス
3. グローバル環境ガバナンスの複雑化とグリーンウォッシュ
4. 土地紛争を生きる人びとのムラへ：予備調査から見えてきたこと
5. 研究課題「植林と土地紛争がもたらす『被害』：フィールド研究からの環境ガバナンスの問い直し」に向けて

日本の紙消費とインドネシアの産業造林



日本市場におけるコピー用紙の国別シェア(2011年度)



- ・ 国内で消費されるコピー用紙の約3枚に1枚がインドネシア産
- ・ その割合は近年増加

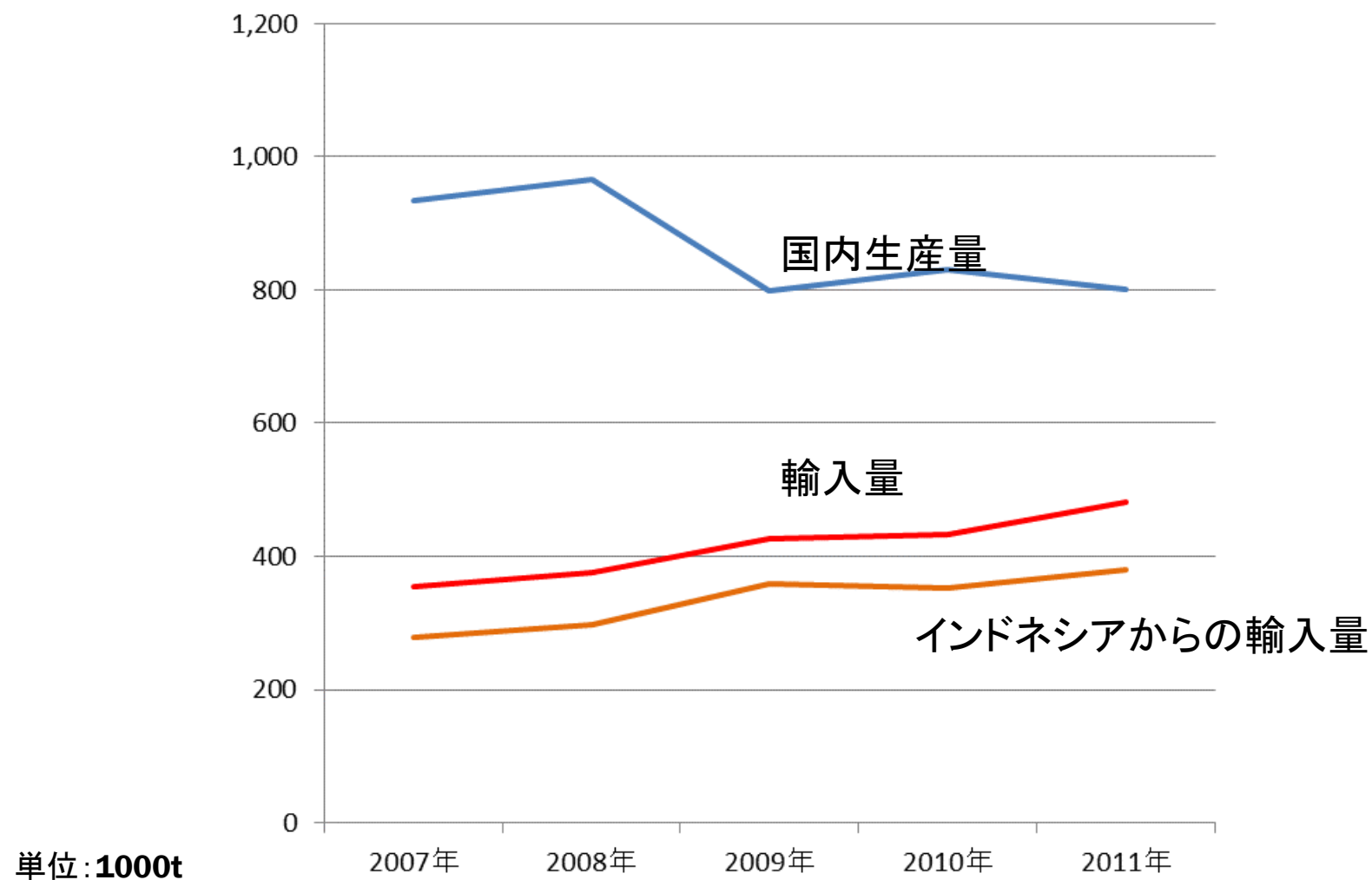
日本市場におけるコピー用紙の国別シェア(2011年度)

出所: 週刊ペーパー・ビジネス・レビュー(n.d.)、熱帯林行動ネットワーク(JATAN) <http://www.jatan.org/>



HOKKAIDO UNIVERSITY

PPC用紙の国内生産量と輸入量の推移



出所: 経済産業省生産動態統計、財務省貿易統計



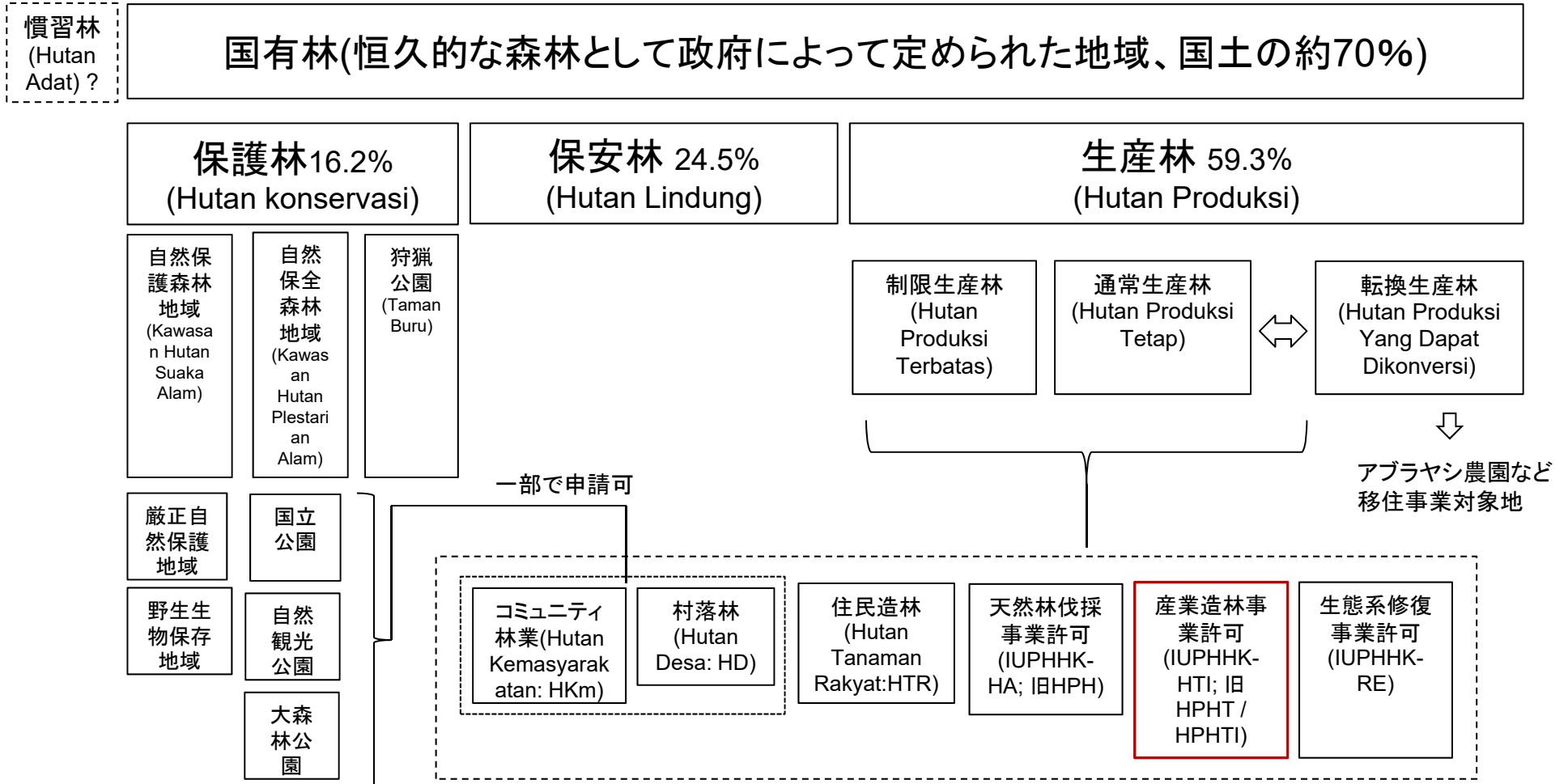
HOKKAIDO UNIVERSITY

産業造林(Industrial tree plantation)

- 苗を受けるなどして人工的に造成された森林→最終的には産業用材を供給するために伐採することを目的に造成
- 政府から産業造林事業許可 (IUPHHK-HT) / HTIコンセッションを得た事業者が植林・伐採を行うことができる
- インドネシアの森林区分でいう生産林で、生産的でない土地(劣化した土地)でかつ、他の権利(事業許可)と重ならない場所に発給
- 合板・家具材となる市場価値の高い樹木のほか、近年ではパルプ用材となる早生樹種、アカシアやユーカリが植えられることが多い

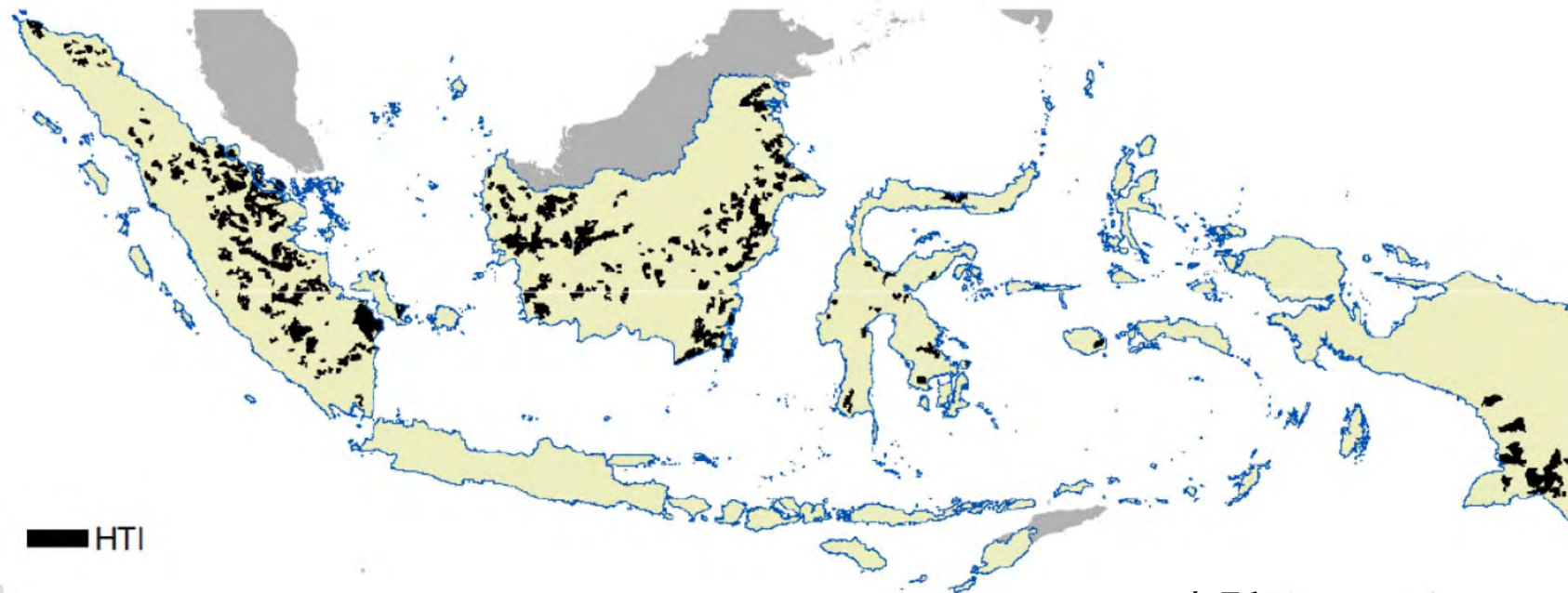


インドネシアの森林区分と産業造林事業許可(IUPHHK-HTI)



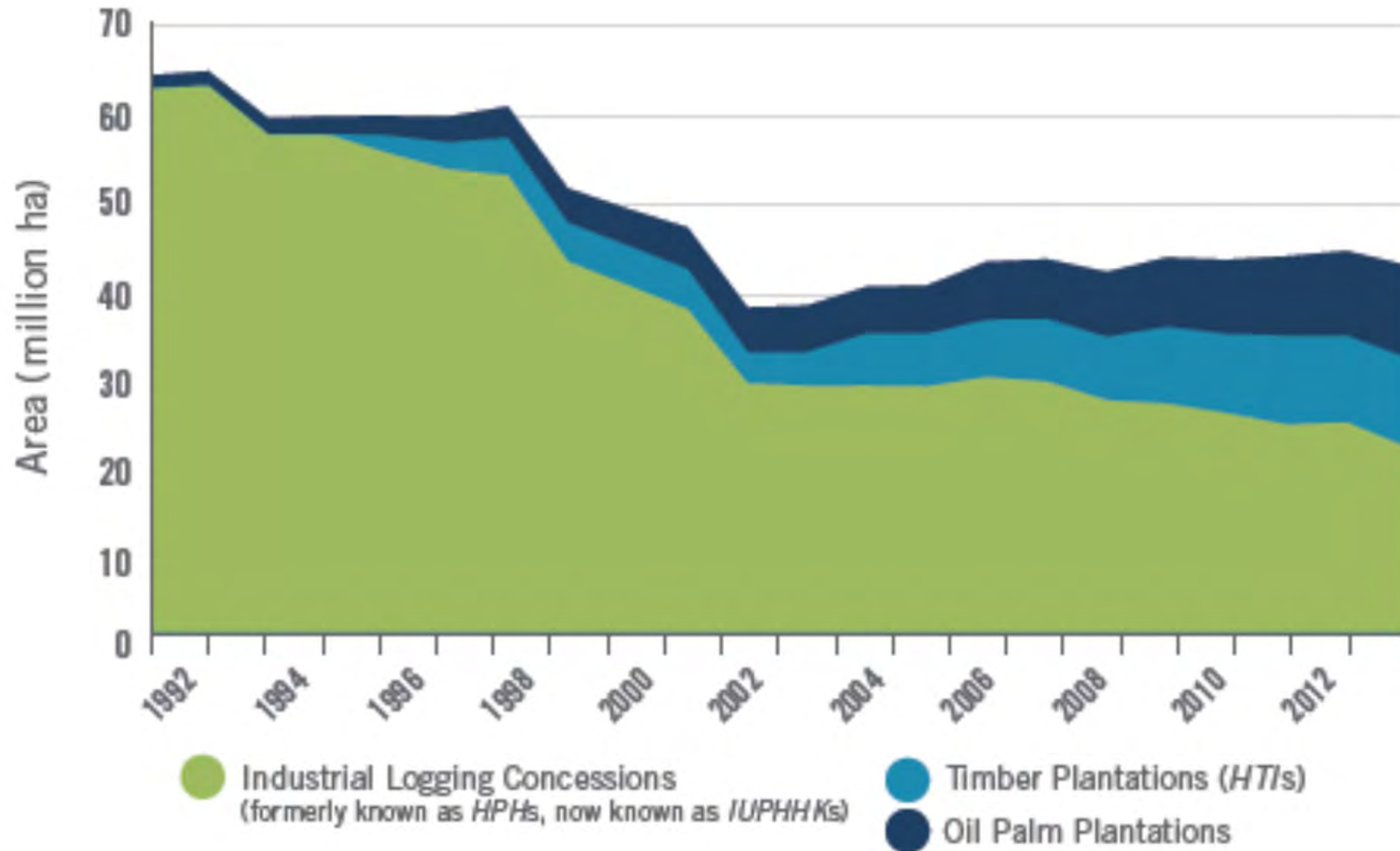
人工林・木材林産物利用事業許可 (IUPHHK-HT) = HTIコンセッション

- 事業許可の期間は60年間で、35年間の延長が可能
- 事業許可取得条件として面積の5%を地域住民とのパートナーシップ用地として用いることが義務づけられている(政令No.6/2007) →しかし、実際には実施されない、あるいは不利な契約を結ばされることも
- 1990年代にはいつてからHTIコンセッションは増加



出所: Wakker (2014)
HOKKAIDO UNIVERSITY

天然林伐採、HTI事業、OP農園開発許可面積の推移

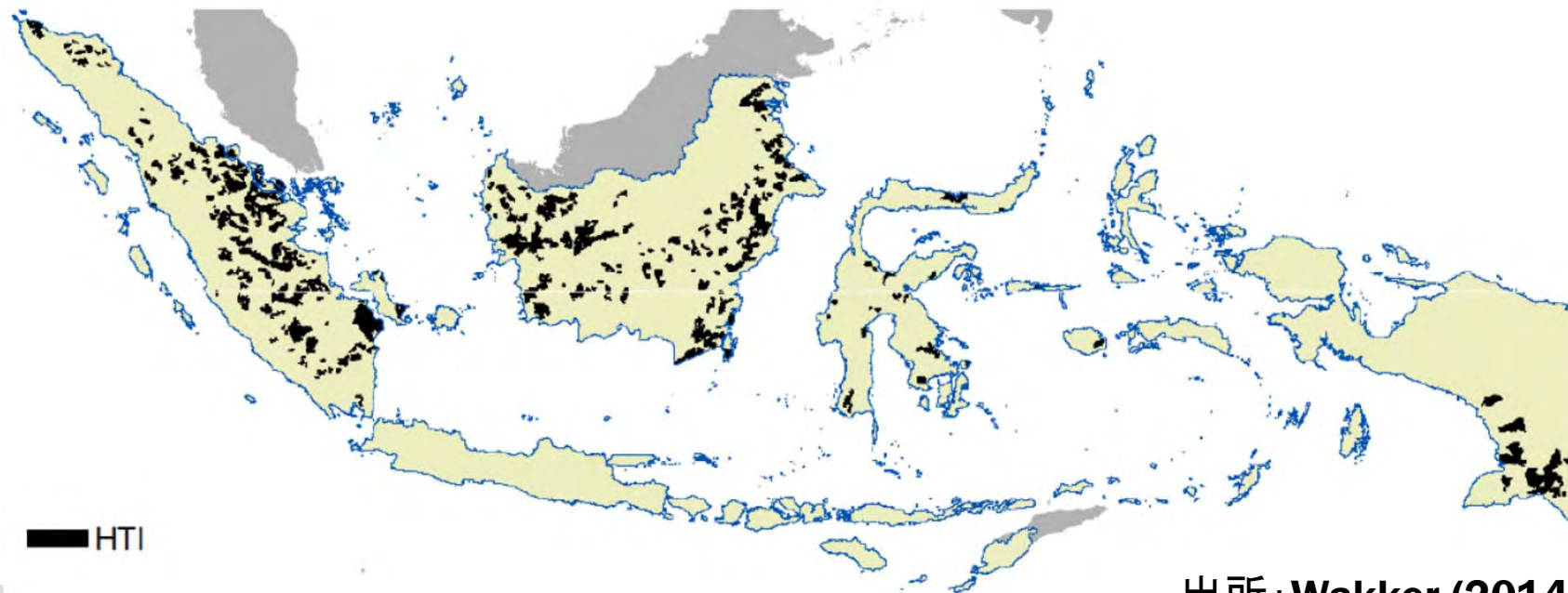


出所: Forest Trends 2015

Note: Not all this area is in production, nor has all the area licensed to plantations been planted.
Source: Logging & HTI (Ministry of Forestry 2013); Oil palm (Ministry of Agriculture 2014).

人工林・木材林産物利用事業許可 (IUPHHK-HT) =HTIコンセッション

- 事業許可の期間は60年間で、35年間の延長が可能
- 事業許可取得条件として面積の5%を地域住民とのパートナーシップ用地として用いることが義務づけられている(政令No.6/2007) →しかし、実際には実施されない、あるいは不利な契約を結ばされることも
- 1990年代にはいつてからHTIコンセッションは増加
- 2011年末現在、249企業に計約1,000万haのHTIコンセッションを発給



出所:Wakker (2014)



HOKKAIDO UNIVERSITY

木材林産物利用 事業許可 (IUPHHK)の発給面積(2012年11月時点)

(単位：個, ha, %)

木材林産物 利用事業許可の 種類	天然林伐採		産業造林		生態系修復		コミュニティ プランテーション		コミュニティ フォレストリー		ビレッジ フォレスト		合計	
	ユニット数	面積	ユニット数	面積	ユニット数	面積	ユニット数	面積	ユニット数	面積	ユニット数	面積	ユニット数	面積
ジャワ ¹⁾	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.9)	328 (0.0)	2 (4.0)	1,284 (0.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (0.4)	1,612 (0.0)
スマトラ ²⁾	28 (9.5)	1,331,150 (5.5)	110 (47.0)	4,513,320 (46.1)	3 (60.0)	118,820 (54.2)	44 (39.3)	314,205 (44.8)	14 (28.0)	54,997 (29.4)	28 (70.0)	63,961 (76.7)	225 (30.6)	6,396,453 (18.3)
バリおよび ヌサ・トゥンガラ ³⁾	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (1.3)	68,590 (0.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (7.1)	21,488 (3.1)	18 (36.0)	33,856 (18.1)	1 (2.5)	3,041 (3.6)	30 (4.1)	126,975 (0.4)
カリマンタン ⁴⁾	172 (58.1)	11,222,548 (46.7)	105 (44.9)	4,515,039 (46.1)	2 (40.0)	100,530 (45.8)	12 (10.7)	84,480 (12.1)	4 (8.0)	83,455 (44.6)	7 (17.5)	15,205 (18.2)	302 (41.0)	16,021,257 (45.8)
スラウェシ ⁵⁾	21 (7.1)	1,158,420 (4.8)	6 (2.6)	120,720 (1.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	41 (36.6)	226,860 (32.4)	12 (24.0)	13,340 (7.1)	4 (10.0)	1,194 (1.4)	84 (11.4)	1,520,534 (4.3)
マルク ⁶⁾	26 (8.8)	1,485,945 (6.2)	7 (3.0)	131,658 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (3.6)	24,120 (3.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	37 (5.0)	1,641,723 (4.7)
パプア ⁷⁾	49 (16.6)	8,840,393 (36.8)	3 (1.3)	440,250 (4.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.8)	29,350 (4.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	54 (7.3)	9,309,993 (26.6)
インドネシア	296 (100.0)	24,038,456 (100.0)	234 (100.0)	9,789,577 (100.0)	5 (100.0)	219,350 (100.0)	112 (100.0)	700,831 (100.0)	50 (100.0)	186,931 (100.0)	40 (100.0)	83,401 (100.0)	736 (100.0)	35,018,546 (100.0)
全体に占める 割合	40.2	68.6	31.8	28.0	0.7	0.6	15.2	2.0	6.8	0.5	5.4	0.2	100.0	100.0

出所：藤原 (2015)



HOKKAIDO UNIVERSITY

企業グループによるHTIコンセッションの集積

(単位：個, ha, %)

企業グループ名	ユニット数	全体に占める割合	面積	全体に占める割合
シナール・マス	35	16.1	2,309,511	25.7
リアウ・パルプ	28	12.8	1,192,387	13.3
合計	63	28.9	3,501,898	39.0

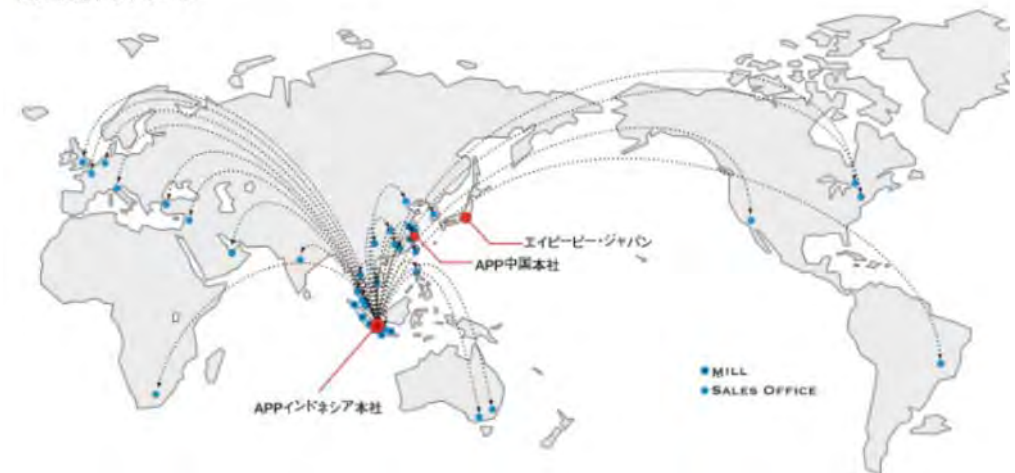
出所：藤原 (2015)

APP(Asia Pulp & Paper) Group

- 世界の**120カ国**以上の国々にパルプ・紙・包装製品を製造・販売
- インドネシア最大の総合製紙メーカー
- **1972年**設立
- **SMG**の主力企業グループ
- 生産拠点：インドネシアに**9カ所**、中国に**20カ所**の主要な生産拠点を保有
- 生産能力：**1900万t/年(APP 2015)** ← 日本の紙・板紙の生産量：**2624万t/年(2013)**
- インドネシアでのパルプ生産の中心：スマトラ島のリアウ州とジャンビ州
- スマトラでのパルプ生産量：**2010年**までに**270万t/年**を超える
- スマトラでの操業開始(**1984年**)以来**2008年**までに**100万ha**以上の天然林を伐採(**1985-2007年**のリアウ・ジャンビ両州の全森林消失面積は**580万ha**)
 - 生物多様性の消失
 - 二酸化炭素排出
 - 数々の土地紛争・人権侵害



海外販売ネットワーク



出所：APP Japan http://www.app-j.com/company/company_app.html

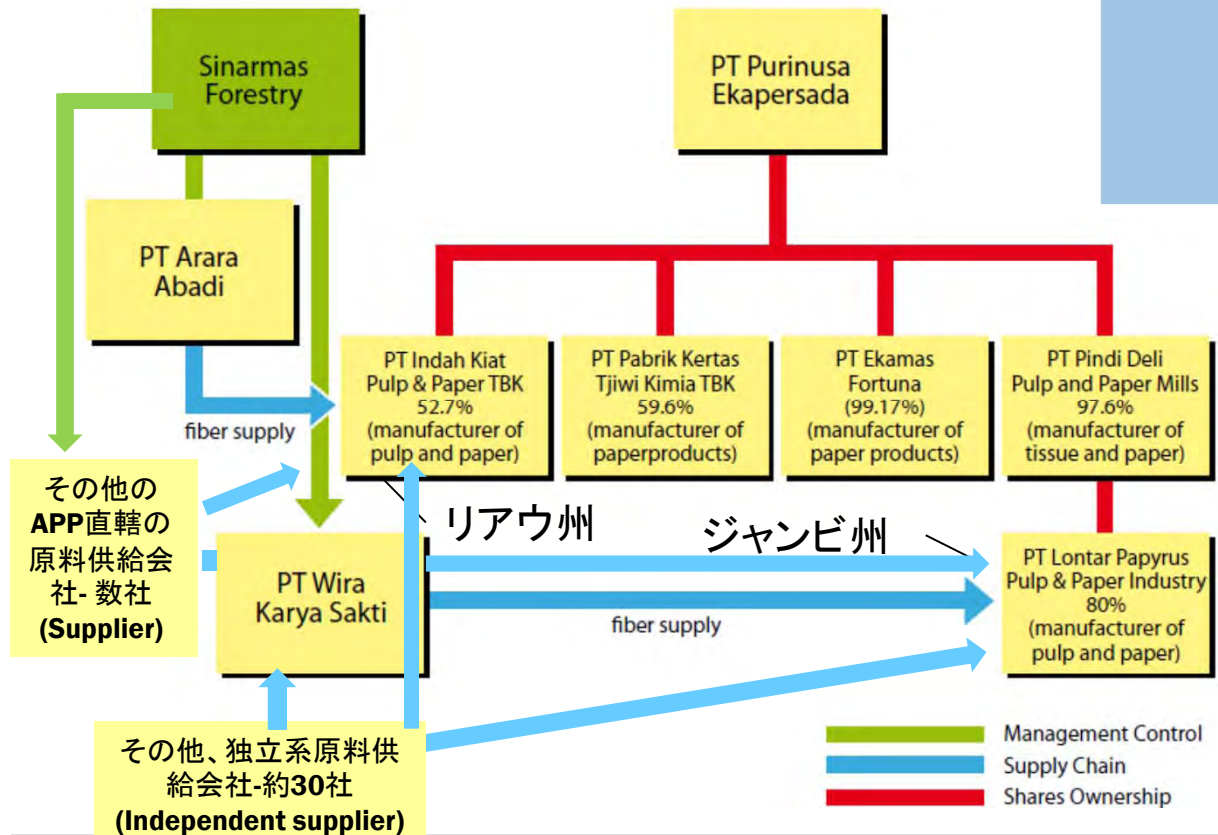
- 国内外の**NGO**からの激しい批判



HOKKAIDO UNIVERSITY

APPグループの紙パルプ工場とWKS社

スマトラ(リアウ、ジャンビ、南スマトラ)に28のコンセッション



現在、南スマトラ州に新しい工場建設中(2016年稼働予定)

日本を含む世界のさまざまな企業(AS社など)へ輸出

- AS社はAPPにとって世界最大のバイヤー
- AS社がAPPからy乳している紙は全輸入紙コピー用紙の54%(2013-2014)

出所: Lang (2010)を参考に作成



HOKKAIDO UNIVERSITY

パルプ用原料の「責任ある生産」にむけた
グローバル環境ガバナンスの形成プロセス



グローバル環境ガバナンスの形成プロセス(1/2)

- **2003年**: **WWF Indonesia**と**HCVFs**の保護を約束した合意書に署名
- **2004年**: **APP**、「持続可能性アクションプラン」公表 → 約束不履行
WWF Indonesiaとのパートナーシップは失敗
- **2005年**: **APP**、「スマートウッドプログラム」を通じた第三者のモニタリングの下での生産を行うため、**Rainforest Alliance(RA)**と契約 → **HCVFs**を破壊
- **2006年**: **RA**はスマートウッドプログラムのイニシアティブを破棄 → しかし、**APP**は「**2005年・2006年度環境的・社会的責任レポート**」で森林保全の実績を宣伝

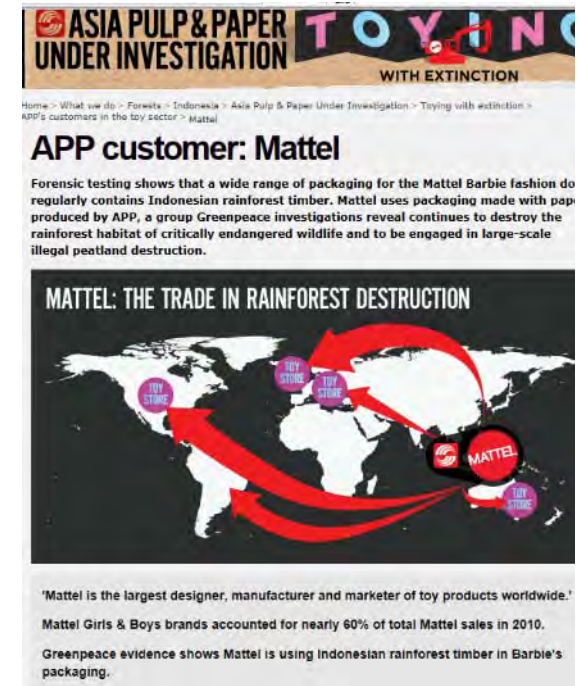


The truth behind APP's greenwash



グローバル環境ガバナンスの形成プロセス(1/2)

- **2007年**: **FSC**、**APP**との関係を断ち切ることを宣言→**APP**は**PEFC**の**CoC**認証を取得
- **2009年**: **APP**系列のサプライヤー、インドネシアエコラベル協会(**LEI**)の認証を取得→**NGO**は「グリーンウォッシュキャンペーン」として批判
- **2010年**: **APP**、リアウのサンクチュアリ保護に同意する旨の声明を発表→サンクチュアリの小面積の森を守ることさえも失敗
- **2010年以降**: グリーンピース、グローバルな市場キャンペーンを開始→マテルなど**100**社以上の企業が**APP**との取引を停止
- こうした市場圧力を受けて、**APP**は**2013年2月**に「森林保護方針(**Forest Conservation Policy: FCP**)」を策定・公表



APPのForest Conservation Policy (FCP)

- APP 「森林保護に関する方針」 (FCP)を発表 (2013年2月1日発効)

theguardian

News | Sport | Comment | Culture | Business | Money | Life & style

Environment | Deforestation

Leading paper firm pledges to halt Indonesian deforestation

Asia Pulp and Paper will end the clearing of forest across its supply chain by preserving high-carbon stock rainforests

Fiona Harvey, environment correspondent
theguardian.com, Tuesday 5 February 2013 10:07 GMT

Jump to comments (22)



WWF Global | español

WWF? | What We Do | Our Earth | You Can Help | News & Stories

Images | GIFTS | DONATE

WWF welcomes APP announcement to halt clearing, urges paper buyers to wait for proof

Like 10 | Tweet | Email | ShareThis 14

Posted on 05 February 2013

JAKARTA – WWF welcomed the announcement that the Sinar Mas Group's Asia Pulp & Paper (APP) have stopped clearing Indonesia's tropical forests and peatlands to allow an assessment of their conservation and carbon values. But the conservation organization urged paper buyers to wait for confirmation of the claims through independent monitoring by civil society before doing business with APP.

"APP today committed to most of WWF's calls. If the company follows through on this, it could be great news for Indonesia's forests, biodiversity and citizens," said Nazir Foad, Conservation Director of WWF-Indonesia.

"Unfortunately, APP has a long history of making commitments to WWF, customers and other stakeholders that it has failed to live up to."

RELATED LINKS

Further Reading on APP

Is | What we do | News | Multimedia


re > Press Releases >

igh in protection for Indonesia's remaining rainf

breakthrough in esia's remaining

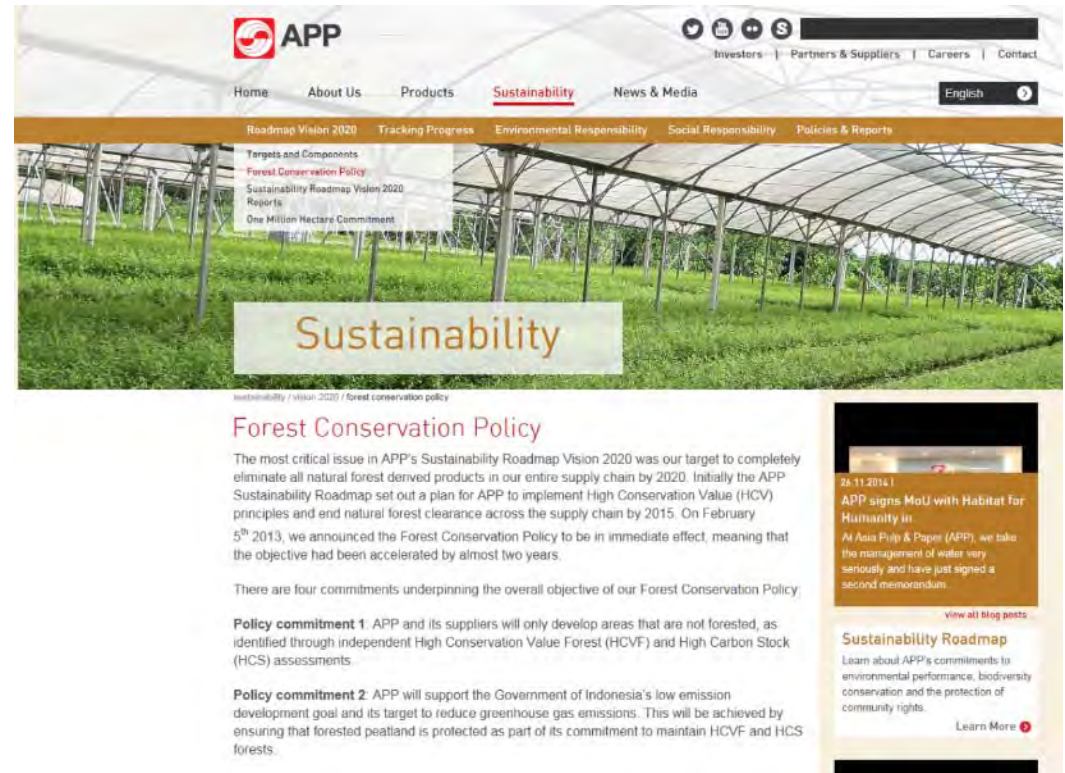
February, 2013

esia, 5 February 2013 – Greenpeace hai



APPのForest Conservation Policy (FCP) (1/2)

- **方針1**: APPおよびその原料供給会社は、**HCVF** および **HCSF** 以外の地域でのみ開発活動を行う
 - **HCVF** および **HCS** 評価が完了するまで、天然林伐採を全面的に停止
 - 誓約を遵守していないことが判明した供給会社については、**APP** は購入を取り止め、契約を破棄
 - これらの誓約はフォレスト・トラスト (**TFT**)の監視下に
- **方針2**: **APP**は、インドネシア政府の低炭素排出開発目標と温室効果ガスの排出減目標を支持
 - 泥炭地内での**GHG** 排出を削減・回避するため、最善慣行管理を採用
 - 泥炭地の未開発コンセッション内では**HCVF** 評価完了までインフラ整備は行わない

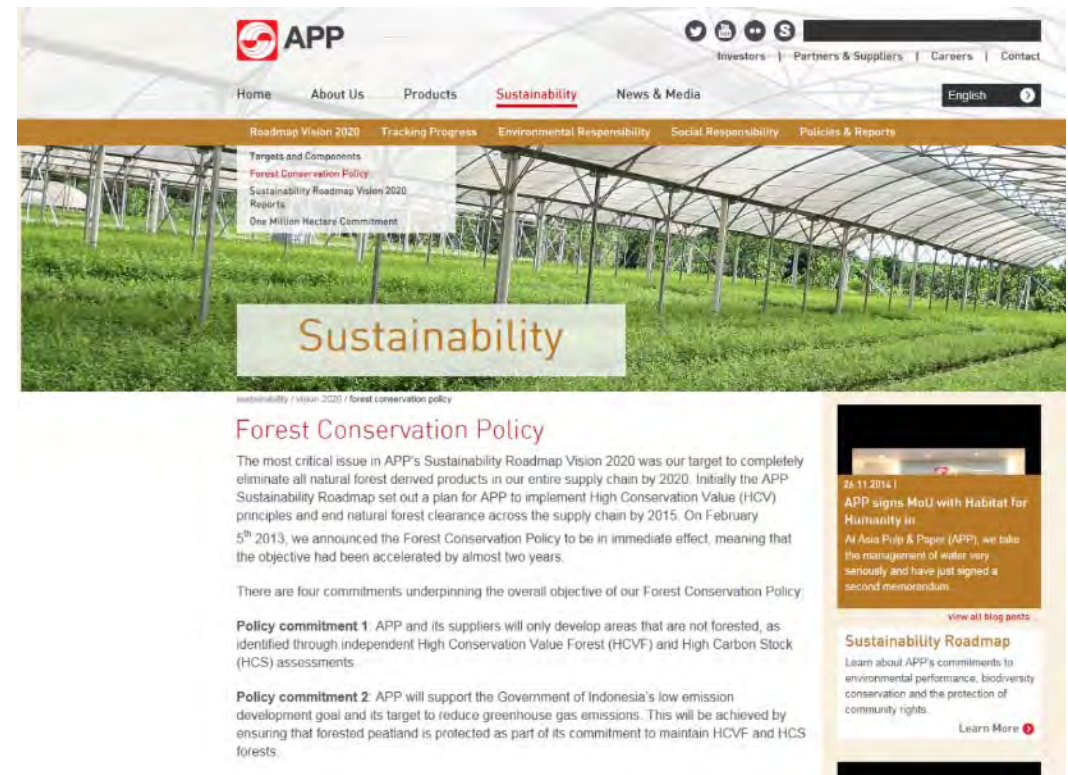


出所: APP <http://www.asiapulppaper.com/sustainability/vision-2020/forest-conservation-policy>

APPのForest Conservation Policy (FCP) (2/2)

- **方針3**: 社会的紛争の回避・解決に向け、以下の原則を実行
 - 先住民族や地域コミュニティの「**Free, Prior and Informed Consent** (自由意志に基づいた事前の合意、**FPIC**)」
 - 苦情への責任ある対応
 - 責任ある紛争解決
 - 地域、国内、国際的なステークホルダーとのオープンかつ建設的な対話
 - コミュニティ開発プログラムの積極的推進
 - 人権の尊重
 - 従業員の権利の尊重

など



出所: APP <http://www.asiapulppaper.com/sustainability/vision-2020/forest-conservation-policy>



紛争解決の進捗状況についての第三者評価

- **Rainforest Alliance: RAの評価(2015年2月公表)**
- 天然林伐採の停止、泥炭林での新規カナル建設の停止、サプライチェーン評価手法の開発などの点では約束を履行
- 新設予定のパルプ工場建設にかかる**FPIC**の実施の着手
→“穏健な”進歩
- 社会紛争の一部は覚書(**MOU**)や行動計画が作られたが大部分は改善が見られず
- 先住民族・地域コミュニティとの合意、行動計画、**FPIC** 原則の実施は限定されたもの
- **38** の全コンセッションで紛争が存在→その多くが長く続くもので紛争地は大面積
- 紛争地マップと紛争の数は非公開
- **FCP**の履行に関する不満・苦情(**grievance**)を処理する**SOP**(標準的作業手続き)を制定→苦情があっても**APP**側から反応がないケースも



An Evaluation of Asia Pulp & Paper's Progress
to Meet its Forest Conservation Policy (2013)
and Additional Public Statements

18 month Progress Evaluation Report
Period Covered: February 1, 2013 to August 15, 2014

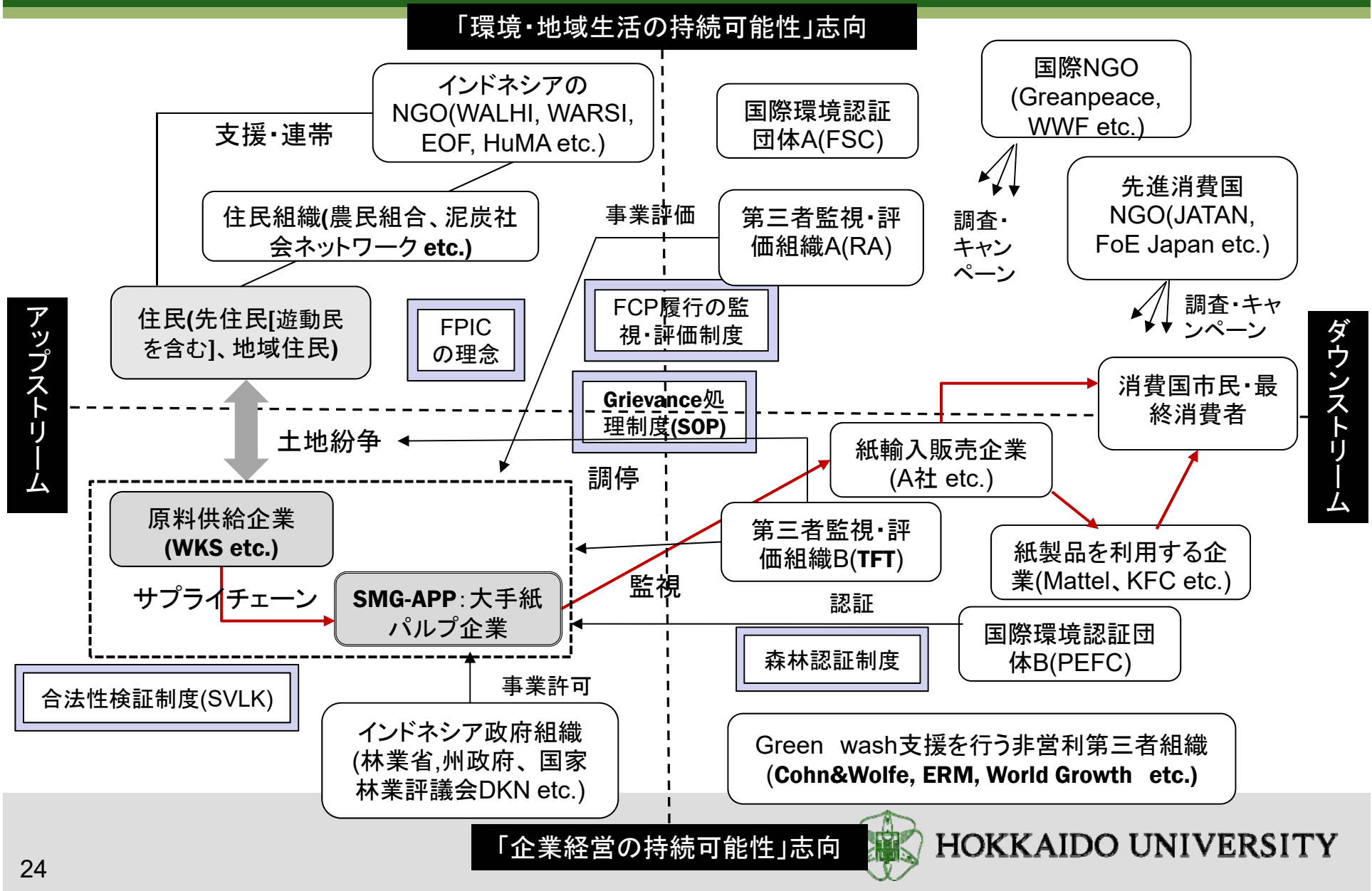
A Report from the Rainforest Alliance
February 5, 2015

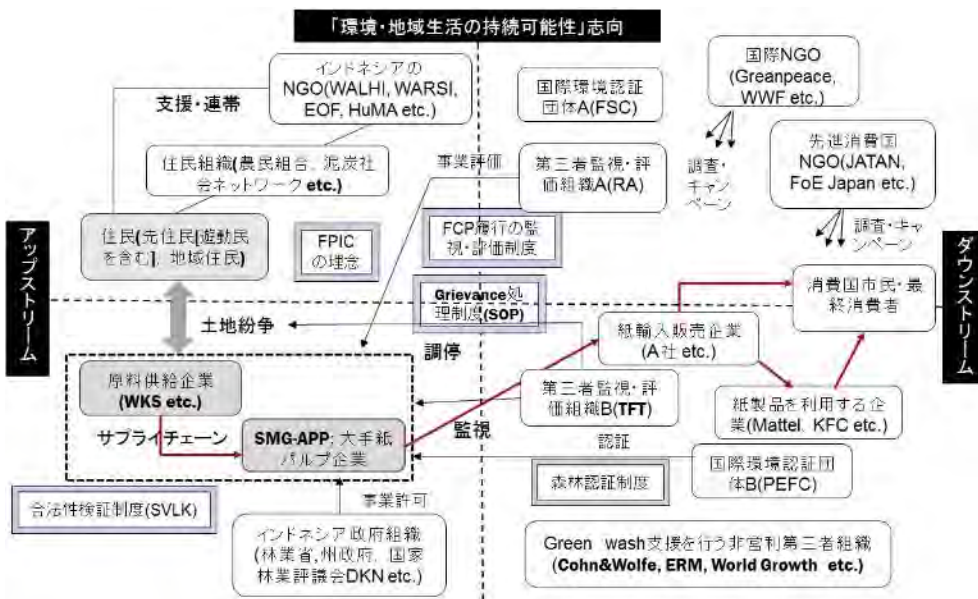


グローバル環境ガバナンスの複雑化と グリーンウォッシュ



紙パルプ原料の「責任ある生産」を目指す グローバル環境ガバナンスのアクター相関図





紙パルプ原料生産地における
ローカルな環境変化
や人と環境とのかか
わりあいの変化

グローバル、メゾ、ローカルレベルのさまざまなレベルで影響力を行使しようとする多元的アクターの複雑な相互作用



2010年代初頭以降の変化の特徴

- 制度的要素の増加
- アクターの数の増加
- 各アクターが重視する価値の多様化
- アクター間の相互作用の多様化
- (相互作用の国境を越えた広がり)

こうした変化は何をもたらしたか

- ガバナンスの構造の複雑化→全体像の把握を困難に
- パワフルなアクターの言説実践による「現実」の構成

パワフルなアクターの言説実践による「現実」の構成



Targets and Components

In June 2012 we launched our Sustainability Roadmap – Vision 2020. This remains the company's comprehensive guide for achieving a 'whole business' sustainability operating model. It covers eleven impact areas, each of which has a number of subsidiary and specific goals.

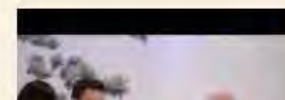
These areas are:

- Reforestation
- Fiber Sourcing
- Conservation and Biodiversity
- Emissions
- Solid Waste
- Water Management
- Employee Welfare
- Community Empowerment and Welfare
- Indigenous Peoples
- Human Rights

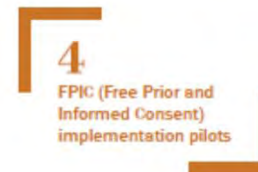
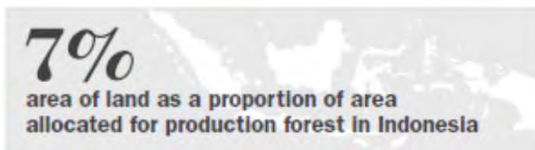
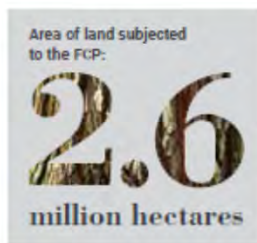
14.07.2015 | Luis C.
APP discussed the value of social investment and...
Asia Pulp and Paper (APP) participated in the 9th MBA CSR Conference on 28th May 2015, held by the Chinese University...

[view all blog posts ...](#)

Sustainability Roadmap
Learn about APP's commitments to environmental performance, biodiversity conservation and the protection of community rights...
[Learn More](#)



APP's Forest Conservation Policy in Numbers





出所: APPホームページ



HOKKAIDO UNIVERSITY

print

share     

20.09.2016

Business support for landscapes critical to UN Sustainable Development Goals, amidst calls for greater global action



- New forecast by DNV GL, an advisory business warns that none of the 17 UN Sustainable Development Goals (SDGs) will be met worldwide by 2030 without urgent action
- Action by business is crucial in achieving the SDGs according to the report, citing APP Group as an example of the changes required of businesses

Jakarta, 20th September 2016 – Asia Pulp & Paper Group (APP) is one of 17 global businesses cited in a [DNV.GL report](#) on private sector action on the [UN Sustainable Development Goals \(SDGs\)](#).

The report published in advance of the [United Nations Private Sector Forum](#) during [Climate Week NYC 2016](#) concludes that whilst many of the 17 SDGs will make good progress across several world regions, action will not be fast or fair enough and will come at an unacceptable environmental cost. The report argues that the scale of the challenge requires urgent action and that the business community will play a vital role. To support action at the UN Private Sector Forum, the report showcases 17 businesses innovating and adjusting their business models to fit the SDGs, arguing that aligning with the requirements of the Sustainable Development Goals has become a blueprint for a business proven to be fit for the future.

APP is featured as a case study on SDG 15 – ‘Life on Land’, the goal of sustainably managing forests, halting and reversing land degradation, combatting desertification and the halting of biodiversity loss. APP is cited in the context of its landmark Forest Conservation Policy (FCP) introduced in 2013 which committed the business to no-deforestation in the management of its pulpwood supply chain. The report argues that with its headquarters in Indonesia – one of the world’s fastest growing economies – APP is at the nexus of challenges around the sustainable use of natural resources, and that the business’ progress illustrates the change that is possible by members of the private sector.

“The question is not whether the Sustainable Development Goals are achievable, it is a question of how quickly - this is ultimately a matter of survival” said Aida Greenbury, Managing Director of Sustainability, Asia Pulp & Paper Group.

Ms Greenbury’s view is that achieving the objectives of SDG 15 requires greater cooperation between businesses, communities, NGOs and the government on shared approaches to landscapes. “The further we have gone in implementing our Forest Conservation Policy, the more we have realised that ending deforestation and supporting Indonesia’s Government in conservation and achieving all 17 SDGs requires a new level of cooperation across the landscape.

“It is clear from DNV GL’s assessment that it will be challenging to meet these goals, but we have seen a lot of progress in the past five years, and growing leadership from many countries. To cite an example, our President in Indonesia has made a clear commitment that there will be no further development of peatland – a huge step, and one we’re committed to support.

“There is much more that the world could and should be doing, a key lesson of our experience is the need to collaborate with everyone with a stake in the landscape. We believe that the next step in achieving these goals is to unlock the power of climate finance and consumer responsibility. If we can get finance out into the communities in the forest and if consumers demand action then change will happen quickly.”

–Ends–

パワフルなアクターの言説実践による「現実」の構成

ASKUL Eco Project
Spring & Summer 2015

のインドネシア製コピー用紙の原材料の植林木パルパは、

「木の畑」でつくられています!

ASKULでは、植林した森を「木の畑」と呼びます。苗木を植えて、育てて、収穫する。それを繰り返すことで、自然林を切らずに植林木で作られたコピー用紙をこれからもずっとお届けしていきます!

ASKUL Original Copy Paper
1 box for 2 trees

ASKULオリジナルコピー用紙1箱のご購入が2本の植林につながる「1 box for 2 trees」プロジェクトです。

植えて
育でて、
収穫する!

2010年10月
2011年4月
2012年10月
2013年10月
2014年10月

2010年にスタートした「1 box for 2 trees」プロジェクト。植林した森の循環について、ASKUL社員が現地を足を選び確認を続けて4年が経過しました。2015年には、いよいよ初めての収穫を行う予定です!

プロジェクトエリア
スマトラ島
ジャバ州

2012年10月
2年が経過、直径11cm、高さ15cm。

2013年10月
3年が経過、直径15cm。

2014年10月
4年が経過、直径18cm、高さ19m)にまで成長

ASKUL Eco Project
ASKUL Manager
ASKUL Manager
ASKUL Manager

ナンバー1[®]の責任
日本一愛用されている[®] ASKULオリジナルコピー用紙。さらなる品質向上、環境配慮に取り組みしていきます!

Column
2015年の収穫に向けて!
ASKUL 森林担当 奥 健一 氏

コピー用紙の製造委託先の植林地があるインドネシアのジャバ州利用を定期的に訪問して4年が経過しました。2015年には再びともに収穫を迎えます。私たちはこれを「収穫」と呼ぶことにしました。植えて、取り取るから収穫です。植えて、採る農作物と同じです。これが産業植林です。

Eco News 1
自然林を切らずに原材料を調達すること。

Eco News 2
途上国の森林を守り、増やす活動に参加しています!

ASKULは、この他にも、環境対応のコピー用紙を揃えています!

FSC®認証
PEFC認証

20ha Project
修復・再生の森づくり

地域住民と自然林を再生しています!

ASKULでは2011年12月からインドネシアの豊富な森林の修復・再生を現地ステークホルダーと協力しながら続けています。このプロジェクトでは、地元若年層の参加と森林再生の確立を目指し、将来の収入の源となるインドネシア産の苗木を植えています。

インドネシア共和国 リア州 ンガリス地区
アキカ村の非保護区の中の30ha (東京1〜2時間約40分)

詳細と最新情報は
リニューアブルWebへ → 1for2.askul.co.jp

ASKUL製紙品に関する
調達方針はこちら → www.askul.co.jp/csr

出所: AS社「2015年春・夏号カタログ」



HOKKAIDO UNIVERSITY

こうした変化は何をもたらしたか(つづき)

- ガバナンスの構造の複雑化→全体像の把握を困難に
- パワフルなアクターの言説実践による「現実」の構成
→地域の生活者が経験している「リアリティ」との間に食い違いがあっても、それが見えにくくなっている
パワフルなアクターの情報発信力 >>> 地域のアクターの情報発信力
- **GEG**の複雑化→グリーンウォッシュの機会を増大(?)

フィールド研究者に何が求められるか？

ガバナンスの制度的外観が整うなかで、パワ
レスなアクター(地域の生活者)が、どのような
日常を生きているかをフィールドワークにより
描くこと！

土地紛争を生きる人びとのムラへ

予備調査から見えてきたこと



WKS(Wira Karya Sakti)社(W社)について

- **WKSのコンセッション: ジャンビ州内の5県、29万3,812ha**
- **うち24万6812ha(約84%)でLEI認証を取得(2009年)→多くのNGOがこれを批判**
- **天然林の59%(4万8000ha)以上を伐採**
- **伐採許可区域の31パーセントは泥炭地 →2007年から2008年の認証審査期間中に泥炭林の70パーセント近く(約2万ha)を伐採**
- **LEI認証の信頼性の問題**
- **PEFC認証への切り替え(?)**



Press Release
20 Nov 2009
Even with LEI certification, APP paper products are unsustainable

JAMBI & PEKANBARU, INDONESIA – The recent certification of an Asia Pulp & Paper (APP)/Sinar Mas pulp plantation by the Indonesian Ecolabelling Institute (LEI) suggests that the LEI standards need to be strengthened, as APP products are not sustainable, a group of non-governmental organizations in Indonesia warned global paper buyers today.

APP and LEI recently jointly announced that APP will start selling LEI certified paper products near the end of the year. But such paper products do not indicate that APP has improved its practices, seven NGOs said.

KKI Warsi, Frankfurt Zoological Society Indonesia Program, PKHS (Sumatra Tiger Conservation Program), Jikalahari, Walhi Riau, Walhi Jambi and WWF-Indonesia recommend global buyers avoid the risks associated with purchasing APP/Sinar Mas products, even ones certified by LEI. They also call on LEI to dramatically strengthen its plantation certification standard and auditor requirements to ensure this kind of inappropriate certification does not happen again.

According to APP, five of APP's pulp and paper mills achieved a Chain of Custody certificate earlier this year under the LEI certification program, and plantations managed by one of APP's many pulpwood suppliers, PT. Wirakarya Sakti (WKS), achieved certification under LEI's standard for sustainable forest plantation management.



Indonesian NGOs: Even with LEI certification, APP Paper Products Are Unsustainable

Posted on 19 November 2009 | 0 Comments

Joint Press Release by KKI Warsi, FZS Indonesia Program, PKHS, Jikalahari, Walhi Riau, Walhi Jambi and WWF Riau

For immediate release on 19 November 2009

JAMBI & PEKANBARU, INDONESIA (19/11) – The recent certification of an Asia Pulp & Paper (APP)/Sinar Mas pulp plantation by the Indonesian Ecolabelling Institute (LEI) suggests that the LEI standards need to be strengthened, as APP products are not sustainable, a group of nongovernmental organizations in Indonesia warned global paper buyers today.

APP and LEI recently jointly announced that APP will start selling LEI certified paper products near the end of the year. But such paper products do not indicate that APP has improved its practices, seven NGOs said.

KKI Warsi, Frankfurt Zoological Society Indonesia Program, PKHS (Sumatra Tiger Conservation Program), Jikalahari, Walhi Riau, Walhi Jambi and WWF-Indonesia recommend global buyers avoid the risks associated with purchasing APP/Sinar Mas products, even ones certified by LEI. They also call on LEI to dramatically strengthen its plantation certification standard and auditor requirements to ensure this kind of inappropriate certification does not happen again.

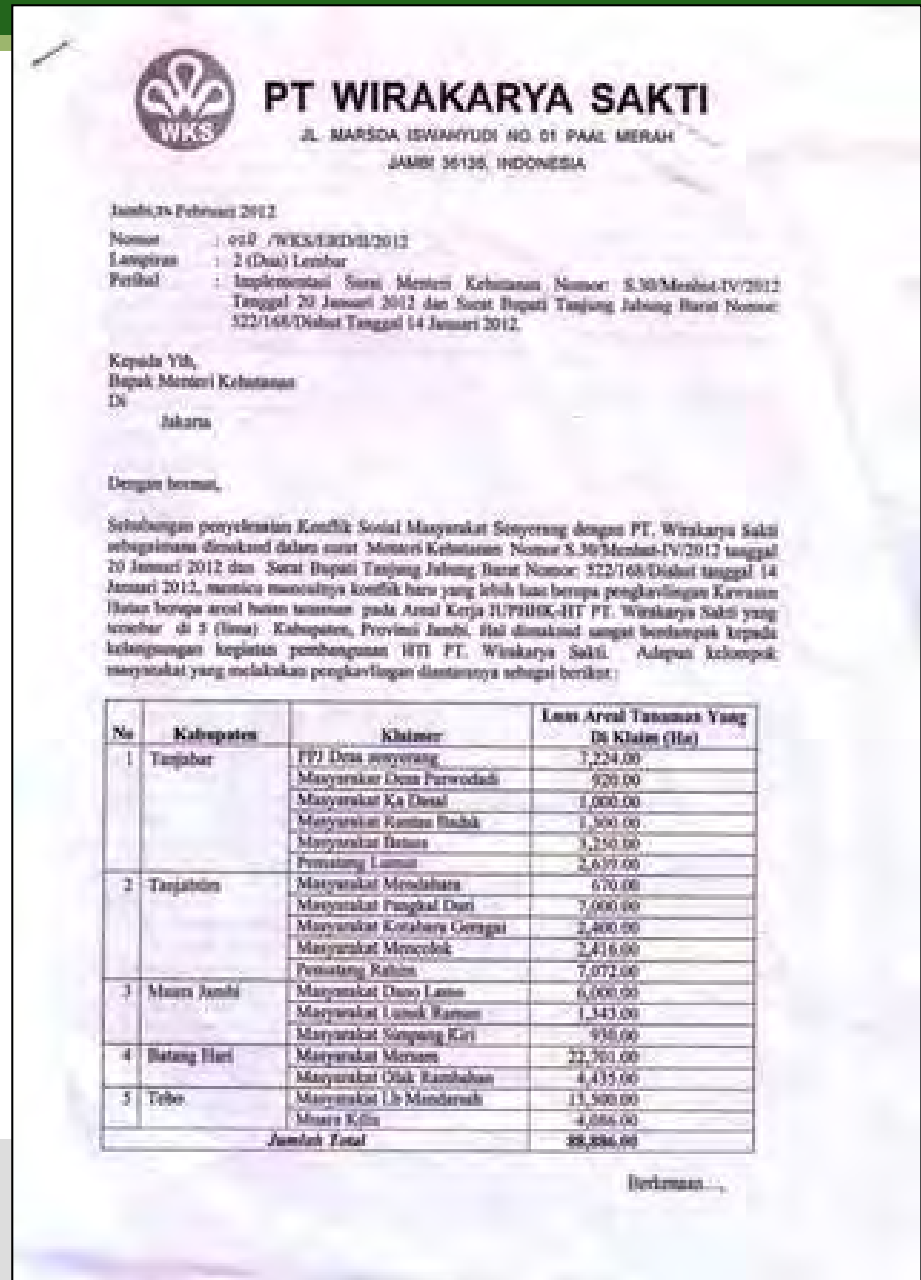
According to APP, five of APP's pulp and paper mills achieved a Chain of Custody certificate earlier this year under the LEI certification program, and plantations managed by one of APP's many pulpwood suppliers, PT. Wirakarya Sakti (WKS), achieved certification under



WKSのコンセッションにおける土地紛争

- ジャンビ州5県18カ村、
88000haの土地で何らかの土地紛争(2012年2月22日時点)

WKS社からの
の林業大臣
宛要請書→



L村B集落の概要・紛争の経緯

- L村人口:約14000人(約6000世帯)
- 生業:陸稲、バナナ、キャッサバ、野菜類の畑作、ゴム・アブラヤシ栽培
- 村の形成:遅くとも20世紀初頭
- 土地紛争の略史
 - 2006年:WKSの道路建設
 - 2007年:住民の農地・出作り小屋が重機で破壊→住民の焼き討ち事件→和解に向けた州政府主導の調査チーム結成
 - 2008年:5県の被害農民の共闘、土地返還を求め州知事庁舎にデモを繰り返す→州知事は和解案を提示→これに農民もW社も同意→しかし実行に移されず
 - 2010年:農民たちは「和解案」合意を破棄、コンセッションの撤回を要求
 - 2007年 - 2013年(FCP発表まで):特に進展のないままWKSと住民との間で土地をめぐる攻防が続く
 - 2013年9月:植林地への再入植、約500ha の土地を「不法占拠」、新たな集落(B集落)を建設(約60世帯、約300人、2015年)



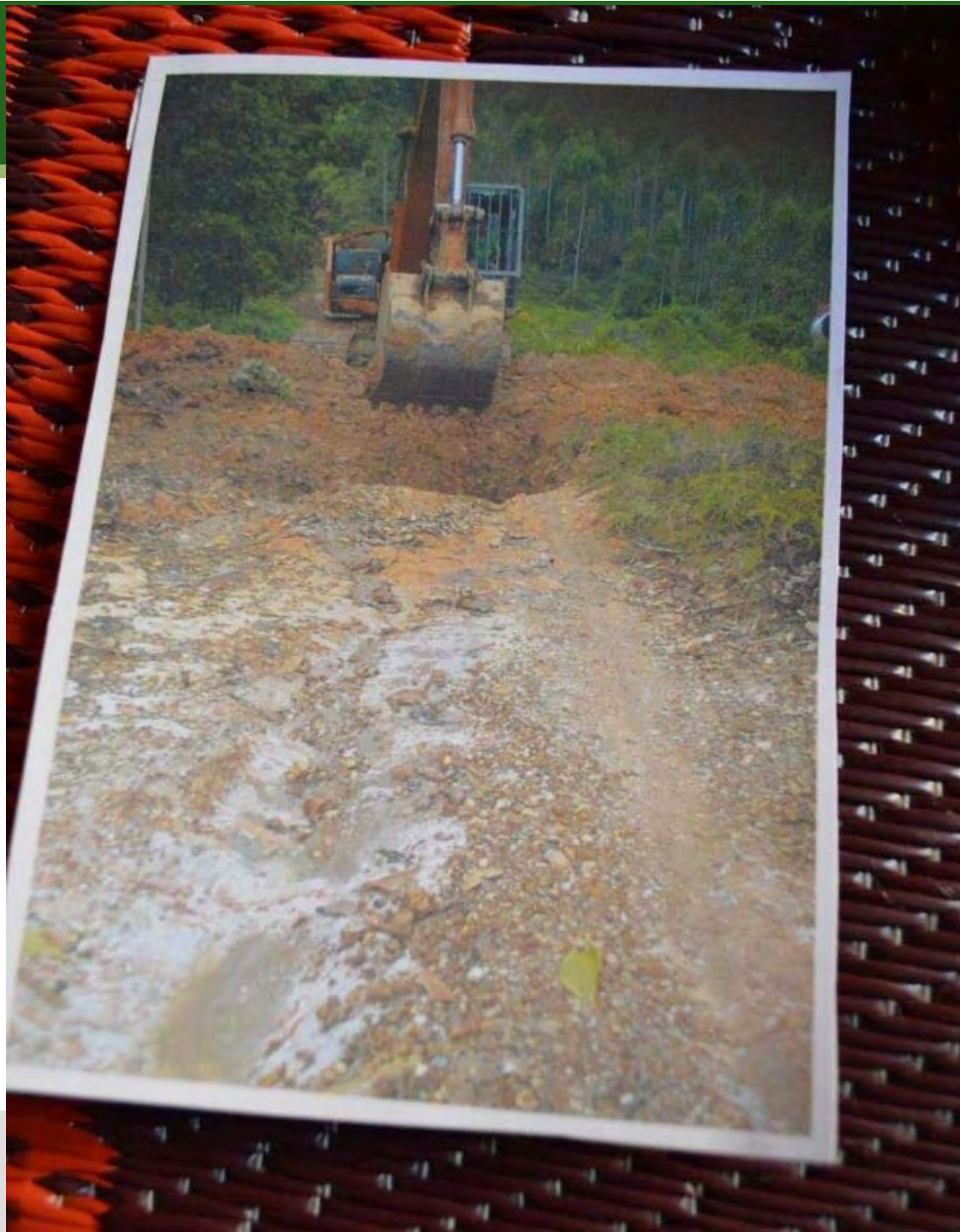






















予備調査での気づき

- (1) 情報発信力の差を背景に、パワフルなアクターの主張のみが公共圏を流通していくという問題
- (2) 土地紛争の解決プロセスで焦点化されている「問題」から、地域の生活者が経験しているさまざまな「被害」が漏れ落ちているという問題

(1) パワフルなアクターの主張のみが流通していくという問題

B集落からの“grievance”の提出(2013年11月)

1. 天然林伐採
2. 新規アカシア植林、河岸地域での植林
3. TFTの調停を通じた和解プロセスのおそさ、非中立性→住民は和解プロセスを拒否



「検証チーム」による検証

- 検証チームの構成
 - **APP:2名**
 - **SMF :1名**
 - **TFT:2名**
 - **Greenpeace:1名**
 - 陳情者代表:**PPJのF氏**
 - **LM村住民:2名**
- 検証結果
 1. 天然林伐採の事実はない
 2. 新規植林の形跡はない、河岸での植林の事実はあったがやむを得ないか、問題のないもの(事業権発行時、地図に河川が記載されていなかった、自然河川ではなく人工的排水路)
 3. 住民は**TFT**がファシリテートする紛争解決プロセスに従う意思を持っている

LAPORAN HASIL VERIFIKASI TERHADAP KELUHAN
DI PT. WIRAKARYA SAKTI
KABUPATEN TEBO
PROPINSI JAMBI

Disusun oleh:
Tim Verifikasi

Januari 2014



「検証チーム」による検証結果を拒否する文書を作成

PENOLAKAN HASIL TIM VERIVIKASI

OLEH MASYARAKAT DESA LUBUK MANDARSAH DAN PELAPOR

**TERKAIAT HASIL KELUHAN MASYARKAT DESA LUBUK MANDARSAH DENGAN
PT.WIRAKARYA SAKTI**

DIKABUPATEN TEBO

PROPINSI JAMBI

YANG TELAH DISUSUN OLEH TIM VERIFIKASI SECARA SEPIHAK

DALAM MENYIMPULKAN HASIL VERIFIKASI

TANPA ADA KESEPAKATAN BERSAMA MASYARAKAT

TANGGAL 24 MARET 2014

Monitoring Dashboard

sustainability / tracking progress / monitoring dashboard

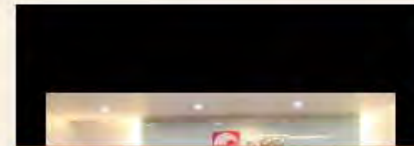
Monitoring Dashboard

APP has developed an online progress reporting system to allow tracking of its Forest Conservation Policy. The system uses TFT's Sure Technology, launched in January 2013, which allows TFT partners to respond to the EU Timber Regulation due diligence requirements and to enhance supply chain transparency.

The current dashboard is a pilot version - it is now the subject of consultation with a number of key stakeholders, including Indonesian NGOs. Once stakeholders have provided input on what information they find most valuable, a second updated version will be launched later in 2013.

To view the dashboard on the TFT Sure site you can request a login by using the [Contact Us form here](#) and select "Dashboard Inquiry" as the message topic. If you already have a login, you can access the [TFT Sure site here](#). We also welcome your comments and feedback on the proposed pilot.

- High Conservation Value (HCV) Assessments
- High Carbon Stock (HCS) Assessments
- Supplier Assessment
- Social
- Peatland Management & Conservation
- Grievance
- APP China
- Global Supply Chain



26.11.2014 |

APP signs MoU with Habitat for Humanity in...

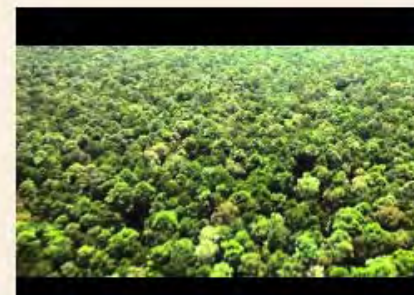
At Asia Pulp & Paper (APP), we take the management of water very seriously and have just signed a second memorandum...

[view all blog posts ...](#)

Sustainability Roadmap

Learn about APP's commitments to environmental performance, biodiversity conservation and the protection of community rights.

[Learn More >](#)



Asia Pulp and Paper:
Landscape Conservation



		OKI in South Sumatra		Observers have finished their field verification.			Verification Report – South Sumatra
9	Email to APP	Moratorium breach at WKS in Jambi	GP Indonesia	Verified – no breach by PT WKS	Complete	13-Mar-2014	TFT Verification report - Jambi
10	Media: www.rphkalimantan.org www.wwf.or.id	Moratorium breach at DTK in West Kalimantan	RPHK	Verified – no breach by PT DTK	Complete	7 - Apr - 2014	TFT Verification report – West Kalimantan
11	Email to APP	Objection to the development of OKI Mill in South Sumatra	WBH	Collaborative discussions held between APP/WBH/Econusa (AMDAL consultant)/TFT. A mutually agreed solution has been arranged.	Complete	25-Apr-2014	Not required
12	Email to APP	Moratorium breach at DTK, ATP, AAU, KWL in Kalimantan – evidenced by payment to the Government’s Reforestation Fund made in the fourth quarter of 2013	Greenomics	Verified - no breach by any of the suppliers. Reforestation fund payment and penalties were paid for natural forest clearing activities prior to the moratorium (1 February 2013). Clarification report sent to Greenomics.	Complete	11-Jun-2014	Not required



(2) 紛争解決プロセスで焦点化されている「問題」から
「被害」が漏れ落ちているという問題



(2) 紛争解決プロセスで焦点化されている「問題」から
「被害」が漏れ落ちているという問題



(2) 紛争解決プロセスで焦点化されている「問題」から 「被害」が漏れ落ちているという問題



(2) 紛争解決プロセスで焦点化されている「問題」から 「被害」が漏れ落ちているという問題



(2) 紛争解決プロセスで焦点化されている「問題」から 「被害」が漏れ落ちているという問題



(2) 紛争解決プロセスで焦点化されている「問題」から
「被害」が漏れ落ちているという問題



(2) 紛争解決プロセスで焦点化されている「問題」から
「被害」が漏れ落ちているという問題



植林による環境変化と土地紛争の「被害」

(聞き取り調査から)

- 河川水量の不安定化(乾季の渇水と雨季の洪水)
- 河川の水質汚染(植林地での農薬散布、および、アカシア残材の河川投棄による)
- 河川での漁獲量の減少
- 木材搬出用トラックが巻き上げる砂埃による健康被害
- 慣習林の減少による林産物入手可能性の低下(農民の土地に対する権利が認められるのは永年性作物が植栽された土地のみであることから、企業による土地の囲い込みが進むなかで、住民たちが慣習林を伐採し、ゴムやアブラヤシが植えていったことによる)
- 米自給システムの崩壊(多くの住民が土地に対する権利を主張しにくい陸稲の栽培を避け、土地権が認められやすい永年性作物栽培に転換したため)
- 農地におけるアカシアの繁茂
- アカシア収穫後に大発生する甲虫による農作物への食害 …などなど

その他にも生活環境の劣化により貧困化のリスクが高まるといった間接的被害、長期化する紛争を生きることの苦痛や「不法占拠者」として生きることの「生き難さ」といった精神的被害などさまざまな「被害」がありそう



今後取り組む研究に向けた着想

- ・ 綿密なフィールドワークを通じて、環境ガバナンスをめぐる「隠れた物語」—力のあるアクターの言説実践によって構築される「現実」とは異なる、現場の名もなき人びとの語りにより浮かび上がる、当事者が経験する開発や紛争解決の姿—を丹念に掘り起こすこと
 - その際に「被害」に着目
- ・ そこで明らかになったことを踏まえて、企業のCSR広報の中身の批判的検討

これから取り組む研究課題

「植林と土地紛争がもたらす『被害』:フィールド研究
からの環境ガバナンスの問い直し」

にむけて



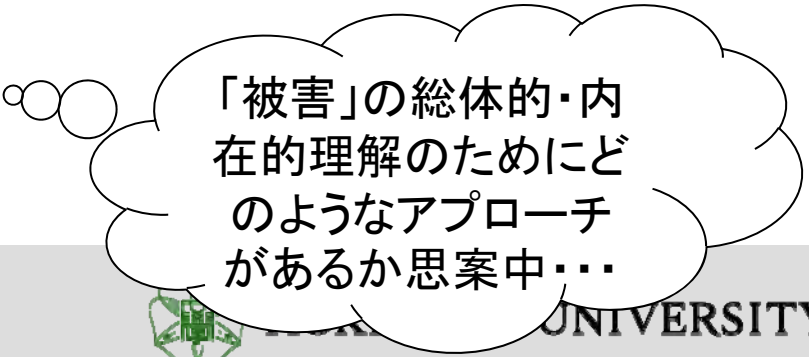
今後取り組む研究に向けた構想 研究課題

1. 植林による環境変化と土地紛争が「地域の生活者」にいかなる「被害」をもたらしてきたのかを、
 - 単に土地・生計手段を奪われるという直接的被害のみならず、生活環境の劣化により貧困化のリスクが高まるといった間接的被害、長期化する紛争を生きることの苦痛や「不法占拠者」として生きることの「生き難さ」といた精神的被害など
 - 「被害」の多面性、それら相互の連関性、そして、「被害」と社会的属性との相互関係に着目して「被害」を総体的・内在的に明らかに
2. 紙パルプ用原料生産現場に生きる住民にとってのリアリティと、紙・パルプ生産・販売企業の環境CSR広報(環境レポート、ウェブサイト、その他のメディアでの広報)の内容とを比較し、両者のあいだにどのような齟齬があるかを明らかに
3. そうした齟齬を埋め、地域の生活者にとっての「問題解決」とはなにかという視点から現在の「グローバル環境ガバナンス」を問い直す際に、「被害」の総体的・内在的理解を試みるフィールド研究が果しえる役割について考察

今後取り組む研究に向けた構想 調査の方法

- a. キーインフォーマントインタビューによる集落の概要把握→紛争史の詳細な年表作成
- b. フォーカスグループインタビューによる植林および土地紛争の社会的帰結に関する認識マッピング(Tscakert and Singha 2007)→植林、土地紛争、環境変化、土地資源利用変化、社会的帰結に関する重要なキーワードの抜き出し、それらの因果関係の整理・図化
- c. 世帯調査: 先住・移住の別(移住の場合、来歴)、農業経営(作目・経営規模など)の変遷、土地・資源利用実態(採取資源・採取場所)、植林・土地紛争がもたらした「被害」意識
- d. 食事調査: 自記式シート配布、食事内容(食材)と食材の入手方法(収穫・贈与／購買)
- e. 家計調査
- f. 簡易問診票を用いた健康調査

...



「被害」の総体的・内在的理解のためにどのようなアプローチがあるか思案中...

おわりに

- この研究課題は、実際的な意味はあるかもしれないが、学術研究としてどうなのか？社会的なガバナンス研究として学術的な意味を持たせるには？
 - 被害の総体的・内在的理解にとって有益な研究アプローチとは？
 - ・ 環境社会学の分厚い「被害」研究が提示した理論的視点から学ぶべき点
 - ・ データ収集方法での工夫
 - 住民にとってのリアリティと企業の環境CSR広報の齟齬、ギャップを明るみに出して、それを批判する・・・というのとは違う議論の方向性
 - GEGは新たな統治の形→GEGの「進展」によって、誰によって何がどのように統治されることになったのか
- ガバナンスが要請する「対話の場に就くこと」→「近代の価値」(土地は「生産的」に使わなくてはならないなど)の共有化の圧力→多様な生き方の選択の可能性を狭める？
- 和解案としてパートナーシップ事業が採用された場合は？
- コメ自給システムの維持という選択は可能？

参考文献

- APP. <https://www.asiapulppaper.com/>
- APP, 2004. Sustainability Action Plan. Retrieved 1 May 2013. From. http://www.greenpeace.org/usa/Global/international/code/2011/app/pdfs/APP_2004_SAP_Final.pdf.
- APP, 2007. 2005e2006 APP Environmental and Social Responsibility Report for Indonesia. Retrieved 1 May 2013. From. http://www.asiapulppaper.com/system/files/APP_Sustainability_Report_2005-2006.PDF.
- APP, 2010. Open Statement: Getting the Facts Down on Paper. Retrieved 1 May 2013. From. http://www.app.com.cn/files/app_openstatement_getting_the_facts_down_on_paper.pdf.
- APP, 2012a. APP Announces New Policies on High Conservation Value Forest. Retrieved 1 May 2013. From. <http://www.scribd.com/doc/93830176/APP-High-Conservation-Value-Forest-Statement>.
- APP, 2012b. Asia Pulp & Paper Group (APP) Charts a Course to World-class Industry Standards in Sustainable Business. Retrieved 25 May 2013. From. http://www.rainforestrealities.com/wp-content/uploads/2012/12/120506_APPSustainability-Roadmap-Release_PDF-Final-for-PDF.pdf.
- APP, 2012c. Vision 2020. Retrieved 1 May 2013. From. <http://www.asiapulppaper.com/sustainability/vision-2020>.
- APP, 2013. Asia Pulp & Paper Group (APP) Commits to an Immediate Halt to All Natural Forest Clearance. Retrieved 1 May 2013. From. <http://www.rainforestrealities.com/wp-content/uploads/2013/02/120305-APP-Roadmap-2Q2013-Press-Release-ENGLISH-PDF.pdf>.
- APP 2012. APP Sustainability Roadmap – Vision 2020: First Quarterly Progress Report. APP.
- Dieterich, U. and Auld, G. 2014. Moving beyond commitments: creating durable change through the implementation of Asia Pulp and Paper's forest conservation policy. *Journal of Cleaner Production*. xxx :1-10.
- Lang, C. 2010. EU Ecolabel allows forest destruction* the case of Pindo Deli. FERN.
- Eric Wakker. 2014. Indonesia: Illegalities in Forest Clearance for Large-Scale Commercial Plantations. *Forest Trends*.
- Forest Trends et al. 2015. Indonesia's Legal Timber Supply Gap and Implications for Expansion of Milling Capacity: A Review of the Road Map for the Revitalization of the Forest Industry, Phase 1. *Forest Trends*.
- Human Rights Watch. 2013. The Dark Side of Green Growth: The Human Rights Impacts of Weak Governance in Indonesia's Forestry Sector. Human Rights Watch. http://www.hrw.org/sites/default/files/reports/indonesia0713webwcover_1.pdf
- Konsorium Pembaruan Agraria. 2013. Warisan Buruk Masalah Agraria di Bawah Kekuasaan SBY. http://issuu.com/konsorsiumpembaruanagraria/docs/annual_report_2013_fix2
- 藤原敬大・サン・アフリ・アワン・佐藤宣子. 2015. インドネシアの国有林地におけるランドグラブの現状—木材林産物利用事業許可の分析. *林業経済研究* 61(1):63-74.
- 熱帯林行動ネットワーク(JATAN). <http://www.jatan.org/>
- 熱帯林行動ネットワーク(JATAN). 2008. 紙製品の購入と利用のてびき. 熱帯林行動ネットワーク(JATAN).
- 林野庁. 2013. 平成25年度森林及び林業の動向. 林野庁. <http://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/25hakusyo/index.html>